

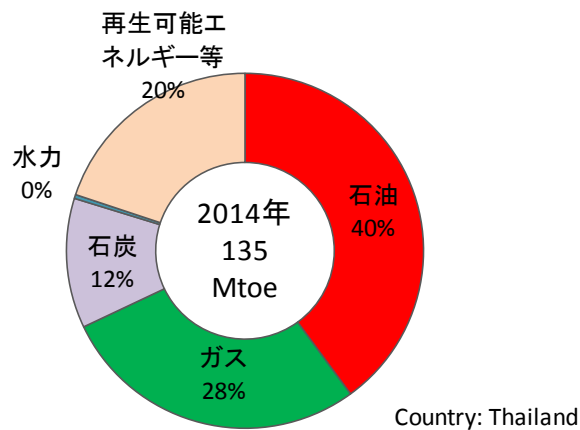
1-6 タイ

1. サマリー

1. エネルギー事情

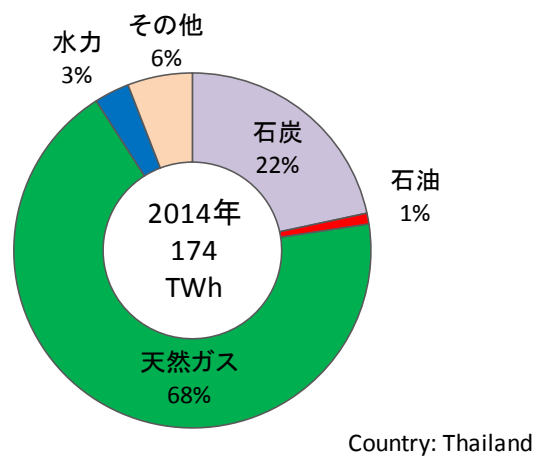
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 135 百万 toe (日本の 0.31 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 1.99toe (日本の 0.57 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 58%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 243.5 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 20.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 3.60CO₂ 換算 ton (日本の 38.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 2.3 年、天然ガス 5.5 年、石炭 82 年

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省 (Ministry of Energy) がエネルギー政策を担う。大臣は Anatapong Kantanarat 氏が務める (2016 年 12 月時点)。天然資源・環境省 (Ministry of Natural Resources and Environment) が国家の天然資源保全に広範な責任を負っている。大臣は Surasak Karnjanarat 氏が務める。

(2) 基本政策

- 2008 年 12 月、Abhisit 元首相が行った政策演説において、エネルギー政策の概要「Thailand's Energy Policy (タイエネルギー政策)」が発表された。重点分野として、エネルギーセキュリティの強化、代替エネルギー導入の推進 (バイオ燃料、天然ガス自動車、再生可能エネルギー)、適切なエネルギー価格維持のための監視、省エネの推進、環境保護に資するエネルギー生産および消費プロセスの推進が挙げられている。

(3) 最近の動向

- 2015 年 8 月、国家エネルギー政策委員会は 2015~36 年のエネルギー効率化計画 (EEP2015) を承認した。2015~36 年の 21 年間でエネルギー効率の改善に向け年平均約 58 億バーツ (総額 1230 億バーツ) を投じる。
- 2016 年 6 月、閣議で石油法の改正案を承認した。改正案は石油開発業者との契約形態を増やすのが趣旨で、国会法制評議会の検証、国家立法議会 (NLA) での可決を経て施行される。同法施行を受け、政府は新たな油田開発事業の入札を開始する計画である。
- 2016 年 11 月、タイ政府は地方電力公団 (PEA) の第 1 期電力網整備計画を承認した。2016~2021 年に 626 億 7,871 万バーツ (1,854 億円) を投資する。同整備計画は、国家経済社会開発委員会 (NESDB) の第 12 期 5 カ年計画 (17~21 年度) に基づき策定された。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2016 年 10 月、東京ガスは 3 日、タイの Bangkok 東郊 Samut Prakan 県で天然ガス発電所を運営する Eastern Power and Electric Company Limited (EPEC) の株式 28% を取得したと発表した。東京ガスが東南アジア諸国連合 (ASEAN) の発電事業に参画するのは初となる。
- 関西電力は、タイ中部 Ayutthaya 県の Rojana 工業団地内で第 3 火力発電所の建設工事を進めている。出力は 105MW。2017 年 6 月頃に商業運転開始の見通し。
- 2016 年 7 月、日・タイ外相会談を開催し日本側からバンコク大量輸送網整備計画 (レッドライン) (第三期) に約 1,700 億円の供与を決定したと発表した。
- 2016 年 10 月、住友商事はタイの発電公社からガス火力発電所の建設を受注した。出力は 1,400MW と、ガス火力としては同国最大になる。2017 年に着工、19 年末に完成予定。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Thailand

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		135 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.99 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.35 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		58 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		243.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		3.60 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	12 %
	石油	40 %
	天然ガス	40 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	20 %
(8) エネルギーの輸入依存度		42 %
(9) 石油の輸入依存度		65 %
(10) 輸入原油の中東依存度		66.4 %
(11) 原油の輸入先	第1位	UAE
	第2位	サウジアラビア
	第3位	オマーン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10) : Energy Policy and Planning Office

(11) : The Customs Department of the Kingdom of Thailand